

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団  
2019 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：東久留米市歯科医師会歯科保健普及啓発事業

(親と子の歯っぴーライフ・歯と歯ぐきの市民健康フェスタ)

2. 申請者名：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 会長 北村 晃

3. 実施組織：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 公益社団法人東京都歯科衛生士会 東久留米市

4. 事業の概要：

子どもの頃からの歯磨きを含めた良い生活習慣が健康な心と体を育みます。3 歳以降の就学前の幼児と保護者を対象に歯みがきを通じて歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せて食事・生活習慣を見直すことをテーマに、親と子の歯っぴーライフを開催しました。また 1994 年の WHO のテーマが口腔保健であったことから、市民のニーズと期待に的確にこたえる事のできる歯科医療、保健、福祉の一層の充実をはかるために、歯と歯ぐきの市民健康フェスタを毎年開催しています。こうした事業を通して、歯の健康寿命を延ばし、市民の健康の保持増進に寄与します。歯と口の健康に関する正しい知識を市民に対して広く普及啓発することを目的とします。

5. 事業の内容

①親と子の歯っぴーライフ “集まれ 歯みがキッズ！！”

2019 年 6 月 22 日 (土) 午前 10 時から 12 時 会場 東久留米市わくわく健康プラザ 1 階講堂

第 1 部 パネルシアター「ビーバー村はおおさわぎ」歯科医師・歯科衛生士による人形劇を通して、歯ブラシの大切さ、生活のリズムを整える大切さを伝えた。食べることにする良い習慣・悪い習慣に気づいてもらう。

第 2 部 歯ブラシ指導 ひがしくん(説明用模型)使用。歯科衛生士による親子単位で個別指導を行った。実際の幼児の口腔をチェック。正しくみがけているか指導。希望者にはフッ素入りペーストを使用。仕上げ磨きのポイントを解説。

まとめ 歯科医師講話(フッ素に関して等・保護者対象)その間、子供には良い生活習慣に関する紙芝居を行った。

②第 26 回歯と歯ぐきの市民健康フェスタ

2019 年 11 月 2 日 (土) 午後 2 時から 4 時 会場 東久留米市市役所 1 階 プラザホール

日本歯科医学会理事 (一社)有病者歯科医療学会理事 独協医科大学名誉教授 今井 裕先生による講演会を開催した。

演題 口は災いの元！ -お口の健康から健康長寿を目指す-

内容 むし歯や歯周病で歯を失うことをはじめとして、口腔が全身の健康に関係し、まさに「口は災いの元」であることを分かり易く解説していただきました。お口の健康を保つことにより皆様の健康長寿延伸の一助となることや、昨今話題になっています「口腔がん」についてもお話していただき、市民の皆様にも好評だったと思います。

6. 実施後の評価(今後の課題)：

親と子の歯っぴーライフは、毎年最新のトピックスを盛り込みながら、いかに子供のころからの歯磨きの習慣が大切かを伝えつつ、良い生活習慣を身につけることが重要かを継続的に伝えていく。

歯と歯ぐきの市民健康フェスタでは、毎年、東久留米市役所との協力のもと、市民の皆様のニーズに合った、歯科医療、保健、福祉に関する最新の情報を提供できる事業としていきたい。